

口腔細菌は史上最大の暗殺者

メタボリックシンドローム、ストレス、歯周病の密接な関係

東京歯科大学微生物学講座、
教授 奥田克爾

健やか長寿は口の健康から

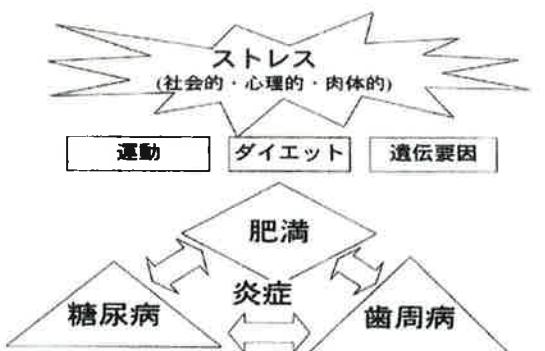
ひとは口から年をとるとか、口は病気の入り口などと言われが、健やか長寿の原点がオーラルヘルスであることは、国民にあまり知られていない。

健康日本21では5つの生活習慣の改善、すなわち1)栄養・食生活 2)身体活動と運動 3)休養・こころの健康づくり 4)タバコ 5)アルコールです。そして4つの疾患予防、すなわち6)口の病気 7)糖尿病 8)循環器病 9)ガンを取り上げている。

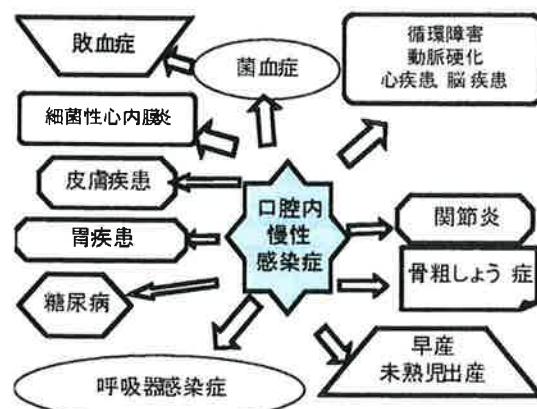
私は、健康寿命の延長を実現するための健康政策の基本が歯科医療・口腔ケアであると信じている。

医学の父といわれるギリシャの医師、ヒポクラテス(Hippocrates、BC460-377)は、口の病気をなくすれば全身の健康が回復することを説いていた。そして、口の疾患がリウマチ、腎臓病などに関わることが指摘されるようになってきた。さらに、近年の分子生物学的解析から歯周病がさまざまな全身性の疾患に関わることが証明され、歯周医学(Periodontal Medicine)という言葉が定着した。

生活習慣に関連して激増しているのがメタボリックシンドロームである。糖尿病、肥満、高血圧、高脂血症は、死の4重奏とも言われる。これらにストレス、タバコ、罹患率の最も高い感染症である歯周病がどのように関わるかについて話します。



メタボリックシンドローム、ストレス、糖尿病、肥満そして歯周病の関係



歯周病は健康破綻に関わる

歯周病は循環障害に関わる

デンタルプラークは、複数の細菌群から構成されるバイオフィルムという細菌塊である。唾液や歯肉溝滲出液を栄養源として数千億個も住み着いている。口腔細菌は、頻繁に血流に入り込んでいることが証明された。デンタルプラークに多い細菌は、血液中に入り込んで心臓弁膜に付着してバイオフィルム集団になっている。